

市民意識の把握について

【論点／解説】

多様化する市民ニーズに応え、市民と行政が協働で都市づくりを進めるためには市民の意見を十分に反映した計画とすることが必要です。そのため、今後、アンケートや関係機関との意見交換、ワークショップ等を通じ、市民の課題意識などを的確に把握することを予定しています。

今回の会議では、市民意識を把握するための最初の取組として、6月に市民アンケートを実施することから、その内容等について協議をお願いするものです。

なお、アンケート結果は次回会議で報告する予定です。

(1)目的

多様化する市民ニーズや市民の課題意識などを的確に把握し、次期帯広市都市計画マスタープランに反映することを目的に実施します。

(2)アンケート内容

【あなたご自身のこと(9問)】、【帯広市の現状(5問)】、【これからのまちづくり(5問)】の三部構成とします。

調査票(案)は別添のとおり。

(3)調査方法

- イ 対象地域 : 帯広市内
- ロ 対象者 : 満20歳以上の帯広市民
- ハ 標本数 : 2,500人
- ニ 標本抽出方法 : 層化3段無作為抽出法
(市内7地区の男女別、年齢別比率を適用)
- ホ 調査方法 : 郵送による発送・回収

(4)調査時期

平成30年6月中旬に調査票を発送し、7月上旬を回答期限とします。

(5)調査結果

調査項目ごとに集計したうえで、都市計画審議会専門部会や庁内検討委員会において詳細に分析し、次期都市計画マスタープランの参考とします。

(6)結果の公表

調査結果はホームページなどで公表します。